

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第191号

Nanae Historical
Museum Collection

ななえ古写真物語 VOL.191

謎の看板

西大沼小学校
昭和50年ころ
西大沼地区



統廃合が進み、七飯町大沼地区の小学校は、義務教育学校である岳陽学校となった。今も校舎が残っている小学校もあるが、今回紹介する西大沼小学校は、2006年（平成18）に106年の歴史に幕を閉じた学校で、現在、跡地には地域の集会所的な役割を持つ、西大沼会館として活用されているが、教室のあった校舎は取り壊され、体育館のみ残っている。閉校に伴い、玄関に掲げられていた学校章や旗などは、当館の資料として大切に保管している。

さて、西大沼小学校の歴史を調べてみると、当初、このあたりの生徒が通学していたのは、森町の宿野辺分教場だったが、通学が不便だったため、明治32年に七飯村と森村で協議し、尊菜沼（現在の西大沼）の中央に校舎を移し、峠下尋常小学校の分校を新設することになった。しかし、決定が11月だったため、新築校舎の建設は雪解けを待って行われ、翌明治33年の7月に「峠下尋常小学校尊菜沼分教場」の名で完成した。ちなみに場所は、現在地とは異なり、大沼プリンスホテルの道路を挟んで向かい側、かつて「大沼簡易保険保養センター」（いわゆる、かんぼの宿）があったあたりに建てられたという。しかし、昭和38年に大沼隧道が開通し、国道5号が現在のルートになったことによって、校舎を移転することとなり、写真にある校舎が建てられた。

学校名も目まぐるしく変遷している。明治34年には、分校から尊菜沼尋常小学校へ昇格したが、大正2年、大沼尋常小学校尊菜沼分教場、戦時中の昭和16年には、再び尊菜沼尋常小学校へ変更、同じ年に、国の方針により尊菜沼国民学校と改称した。戦後となる昭和23年には尊菜沼小学校と改称、昭和32年に、七飯町内における字名改正がなされたことに伴い、西大沼小学校と改称した。それ以降は同名のまま、閉校となった。

写真の校舎は、昭和50年ころに撮影されたものと思われる。コンクリートのひび割れが目立つ、校名を記した門を臨む側が、国道沿いにあたるので、この校舎に記憶のある方もいると思う。門から校舎までの間はグラウンドで、運動会などが行われた。校舎内は教室が3室と少人数の学校だったため、複式学級だった。ほか体育館、職員室、校長室、放送室、保健室、備品庫、教材室で構成されていたようだ。

写真で最も気になったのは、9枚のガラス窓がはめ込まれ、一枚の扉となっている引き戸の玄関の上部である。中央には校章と思われるものが掲げられているのだが、その左側の軒に電話・電報の看板と思われるものが見られる。地域に開かれた小学校ではあったが、電報を取り扱っていたのだろうか？この謎は、まだ解明できていないので、情報を求む。

12月の予定

12日 鹿部小学校さんの見学

3年生15名が来館し、昔の生活道具の解説をしました。現在のものと形や素材が異なるため、ところ天突きを見た男の子が「耳かき?」と言ったり、「アイロンは水で濡らしてかけるものなの?」と質問されたり、昭和時代に生まれたものにとっては、ある意味、新鮮と驚きに満ちた答えでした。小学生の見学で繰り返し伝えること。それは、何年前に使っていたかは重要ではない、ということ。教科書から少し思考を離して、博物館で実物から学べることは意外にもたくさんあります。



21日 ジュニア探検クラブ

七飯町より風が強い江差町へ、開陽丸記念館と旧檜山爾志郡役所の見学をしました。軍艦開陽丸は、オランダ製で全長73メートル。完成まで3年かかったそうです。子どもたちは、船内のハンモックに揺られたり、砲弾の重量を体感しました。郡役所では、江差の生活と産業の関係、特産品や北前船のお話など、檜山の歴史に触れました。尺八を吹く体験もし、音を出す難しさも知ったようです。



企画展示「つつむ」が開催中です。

この展示は、ときどき昼食に職員が食べるカップ麺から着想しました。独特のパッケージのデザインに、「これって、文化だよな。」と考え、古い包装紙やお店のマッチ箱、パッケージ買いしてしまう缶や箱など、資料や実際に使っているものなどを展示しています。広告としてのデザイン性をアピールする、あんなものやこんなもの、見て楽しんで頂けたら嬉しく思います。気になる袋麺の投票もしています。ぜひ参加してみてください。




1	金	企画展示「つつむ」開催中
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	夜の博物館 後期講座第1夜
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	ピチャリ第192号発行
21	木	
22	金	
23	土	ジュニア探検クラブ
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	年末年始休館日(1/3まで)
30	土	
31	日	

※年末年始は休館になります

ゆりかご

先ごろ寄贈された藤製のゆりかご。ゆったりとして赤ちゃんが眠れそうです。



編集後記 ~tawagoto~

海洋プラスチックに関する本を読んだ。今や北極の氷からでもカラフルなプラスチック片が見つっている。フリースなどの化学繊維の生地を洗濯すると大量のマイクロプラスチックが発生し、チューインガムのベースにもポリ酢酸ビニルという樹脂が使われているという。海のプラスチックごみのうち3割近くが飲料ごみという現実もある。少しでも変えるには、まずは「知る」ということ。「無知は良くない」と言った人の言葉を思い出す。

~ピチャリ~

第191号

令和5年11月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp